

## 航空特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問 } 24問 1時間  
無線工学 12問

### 法 規

〔1〕 「無線局」の定義として、正しいものはどれか。  
次のうちから選べ。

- 1 無線設備及び無線設備の操作を行う者の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。
- 2 無線設備及び無線設備の操作又はその監督を行う者の総体をいう。
- 3 無線設備及び無線設備を管理する者の総体をいう。
- 4 無線設備及び無線従事者の総体をいう。ただし、発射する電波が著しく微弱で総務省令で定めるものを含まない。

〔2〕 次の記述は、「航空用DME」の定義である。電波法施行規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空用DME」とは、960MHzから1,215MHzまでの周波数の電波を使用し、航空機において、当該航空機から地表の定点までの を測定するための無線航行業務を行う設備をいう。

- 1 飛行距離
- 2 見通し距離
- 3 地表距離
- 4 飛行時間

〔3〕 航空特殊無線技士の資格を有する者が、航空局（航空交通管制の用に供するものを除く。）の25,010kHz以上の周波数の電波を使用する無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 50ワット
- 2 30ワット
- 3 20ワット
- 4 10ワット

〔4〕 無線局の臨時検査(電波法第73条第5項の検査)が行われることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 総務大臣に無線従事者選解任届を提出したとき。
- 2 総務大臣の許可を受けて、無線設備の変更の工事を行ったとき。
- 3 総務大臣から無線局の免許が与えられたとき。
- 4 総務大臣から臨時に電波の発射の停止を命じられたとき。

〔5〕 免許人は、無線局の検査の結果について総務大臣から指示を受け相当な措置をしたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 速やかにその措置の内容を総務大臣に報告する。
- 2 その措置の内容を無線局事項書の写しの余白に記載する。
- 3 その措置の内容を免許状の余白に記載する。
- 4 その措置の内容を検査職員に連絡し、再度検査を受ける。

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 速やかに総務大臣の承認を受ける。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。

# 航空特殊無線技士試験問題

## 法 規

- 〔7〕 次の記述は、呼出符号の使用の特例について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

航空局又は航空機局は、連絡設定後であって  のおそれがないときは、当該航空機局の呼出符号又は呼出名称に代えて、総務大臣が別に告示する簡易な識別表示を使用することができる。ただし、航空機局は、航空局から当該識別表示により呼出しを受けた後でなければこれを使用することができない。

- 1 妨害
- 2 途絶
- 3 混同
- 4 混信

- 〔8〕 ノータムに関する通信の優先順位はどのように定められているか。次のうちから選べ。

- 1 緊急の度に応じ、緊急通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
- 2 緊急の度に応じ、遭難通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
- 3 緊急の度に応じ、無線方向探知に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。
- 4 航空機の安全運航に関する通信に次いでその順位を適宜に選ぶことができる。

- 〔9〕 義務航空機局の運用義務時間として無線局運用規則に定められているものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 責任航空局が指示する時間
- 2 航空機の航行中常時
- 3 航空機の航行中の通信可能な時間
- 4 航空機の航行中及び航行の準備の時間

- 〔10〕 次の記述は、航空移動業務の無線電話通信における応答事項を掲げたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- ① 相手局の呼出符号又は呼出名称 1 回
- ② 自局の呼出符号又は呼出名称

- 1 1回
- 2 2回
- 3 3回
- 4 3回以下

- 〔11〕 航空機の緊急の事態に係る緊急通報に対し応答した航空機局はどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 直ちに緊急の事態にある航空機を運行する者に緊急の事態の状況を通知する。
- 2 直ちに航空交通管制の機関に緊急の事態の状況を通知する。
- 3 直ちに付近を航行する航空機の航空機局に緊急の事態の状況を通知する。
- 4 必要に応じ、当該緊急通信の宰領を行う。

- 〔12〕 1 2 1. 5 MHz の周波数の電波を使用することができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 気象の照会のため航空局と航空機局との間において通信を行うとき。
- 2 時刻の照会のために航空機局相互間において通信を行うとき。
- 3 急迫の危険状態にある航空機の航空機局と航空局との間に通信を行う場合で、通常使用する電波が不明であるとき又は他の航空機局のために使用されているとき。
- 4 電波の規正に関する通信を行うとき。